



浜崎伝建物語

浜崎の町並みの つくり方

萩城下町には、町家の町並みが続く町人地がたくさんあり、浜崎もそのひとつです。しかし、絵図をみると浜崎と他の町人地には大きな違いがあります。他の町は城内への入り口として設けられた三つの総門（北、中、平安古）へ向かう通りに沿って町割りが行われているのに対し、浜崎町は中心となる本町筋はその先に海があるばかりです。



また、これは現在の地図でみるとよく分かるのですが、他の町は碁盤の目状の町割りに組み込まれた真つすぐに延びているのに対し、浜崎本町筋は吹上の坂を下り始めるあたりから西に緩やかにカーブしています。これは周囲より高くなった尾根筋に沿うように町並みがつくられているためで、海に近い河口の低地において町を守る工夫とも言えます。

このような町並みのつくりられ方の違いと共に、城下町を治めるための仕組みにも浜崎と他の町では大きな違いがあります。萩城下の町人地の大半は、町奉行が直接に治めていましたが、浜崎町、浜崎新町、だけは、御船倉に設けられていた浜崎宰判（さいばん）と呼ばれる役所が治めていました。この浜崎宰判が治めていたのは、沿岸の大井浦など七浦と大島や相島など七島の範囲です。つまり、萩城下町の海に延びるネットワークを治めていたのが浜崎宰判であり、その拠点が浜崎でした。

浜崎は、まさに萩城下町の海を治めるための町であったと言えます。

※浜風だより9号より復刻転載 大槻 洋二

御船倉コンサート

10月17日(土)開催決定!



中井智彦

劇団四季に所属し「美女と野獣」(野獣役)「オペラ座の怪人」(ラウル役)をそれぞれ500ステージ務める。退団後は艶のあるバリトンを持ち味に舞台・ミュージカルで活躍中。

昼の部 14:00 夕の部 17:00
入場料 2000円

チケットは旧山中家住宅で、9月初旬より発売

住吉祭礼の図 (八江萩名所図画より)

『八江萩名所図画(やえはぎめいしよずえ)』は江戸時代終わり頃に編集が始まった「名所図画(めいしよずえ)」の一種である。萩城下の名所・寺社・民俗などが、精密な版画と文章で紹介されている。今でいえば、地元で話題のスポットを紹介する観光案内書といえる。

その『八江萩名所図画』の中に、「住吉祭礼」の図がある。もろ肌脱いだ人達が曳く踊り車や、開け放った家々の座敷から多くの人が見物をしている様子が描き込まれている。踊り車に付き添う人も多数描かれており、当時から城下の人々の注目を集めた祭り「住吉祭礼」の熱気が伝わってくる。

踊り車を先導する高張り提灯、踊り車の軒に下がった提灯、見物の人が座る座敷の燭台などから、この巡行が夜間に及ぶものであったことが分かる。

日ごろは、つましく暮らした(かもしれない)城下の人たちが、祭りの期間中は贅沢に灯りを灯し、招き招かれて盛大に宴を張り、夜更けるまで非日常を楽しんだであろう様が想像される。

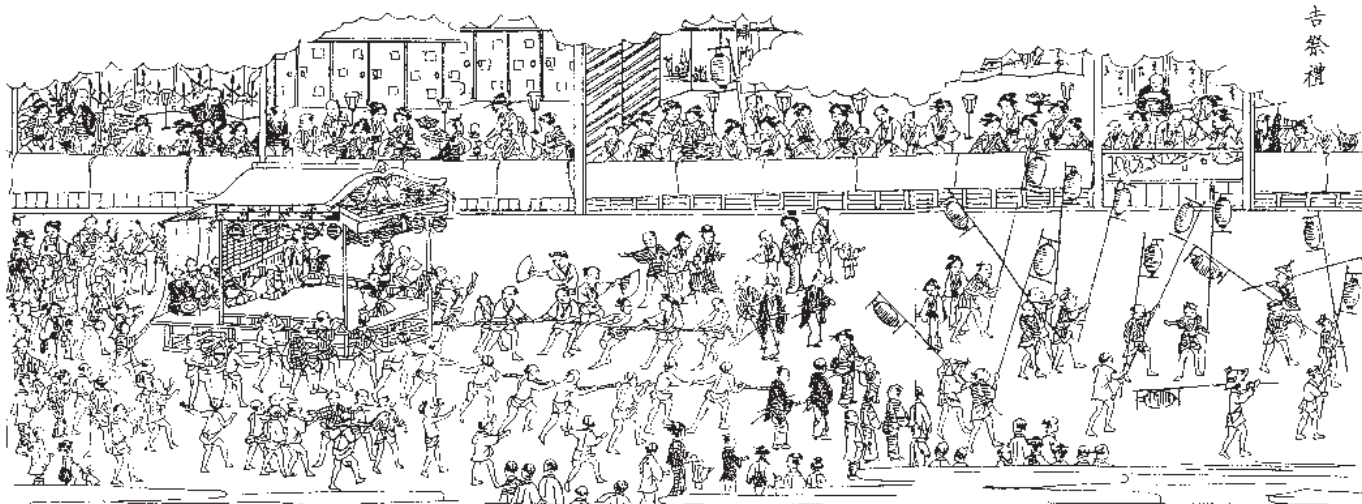
この図画を見る限り、城下の家々では藪戸(しとみど)を開け、格子戸までも取り外していたようである。座敷前面には緋毛氈を掛け、背後には屏風を立てまわしていたのであろうか。目の前に、次から次に現れる踊り車や山車の数々は移動舞台であり、家々の座敷はさながら劇場の座敷となる。

何とも贅沢な時間・空間であり、うらやましくなる。

現在、浜崎を含め萩の「まち」には、この図のような「しつらい」が可能な家々が少なからず存在する。そのような家々にお邪魔し、一度、この図のように祭礼を囃すことができないものかと思う。

清水 満 幸

※浜風だより5号より復刻転載





せんたく工房 おかの

老舗のクリーニング屋さんが
浜崎に帰ってきました
浜崎一区

技術だけでなく、心を感じる手仕事を

33歳のときに独立して青海でクリーニング業を営み、事業者向けと個人様向けの仕事をしていましたが、一昨年に浜崎に住んでいた父が急逝。事業者向けの仕事を整理し、一人ひとりのお客様と、大切な洋服・着物に、持てる技術を生かすべく、生まれ育ったこの浜崎に戻ってきました。

大正生まれの祖母が戦前に始めた『日の出』印のクリーニング店を、「生涯現役」をモットーに、これからもこの町で守り続けて行きたいと思っています。

電話 090-4897-6815



あっちゃん先生の ひとことアドバイス

最近の夏は、連日の猛暑に引き続き残暑も厳しく、夏の終わりから秋にかけて体調を崩される方が増えています。

皆さんは夏場、どんな過ごし方をしていますか。また、夏にこんな症状が増えることはありませんか。以下のチェックがつく項目が多いほど「いまだき夏バテ」にかかっている可能性があります。また、チェックがついた項目で、どのタイプの夏バテなのかがわかります。

- ☐ 1. 屋外と屋内の出入りが日中に3回以上ある
- ☐ 2. エアコンの設定は25℃以下である
- ☐ 3. 夜なかなか眠れない
- ☐ 4. 一日の大半を冷房が効いた場所にいる
- ☐ 5. イライラしがち
- ☐ 6. 生理痛がひどくなる
- ☐ 7. 頭痛や肩こり、むくみがひどくなる
- ☐ 8. 下痢をしやすい
- ☐ 9. 温かい食べ物より素麺などの冷たいものを食べることが多い
- ☐ 10. 飲み物はほとんど冷たいものを飲む

1、2、3、4、5…冷房バテ(体が冷え血行不良や内臓機能が低下し疲れが溜まりやすくなる)

6、7、8…冷房バテ、食冷えバテ

9、10…食冷えバテ(胃腸が冷え機能が低下し胃もたれや下痢を起こしやすくなる)

暑い屋外と寒い屋内の出入りが多いと、自律神経が乱れます。その結果、夜なかなか眠れず、ホルモンバランスが崩れて生理痛やイライラがひどくなることもあります。また、ずっと寒い屋内にいと血行が悪くなり、肩が凝ったり、足がむくんだりします。くれぐれも体や内臓を冷やしすぎないよう以下の点を心がけてください。

- ・冷房の効いた場所では薄着すぎるのは禁物。羽織や靴下など1枚プラスする。
 - ・夏でもしっかり38度くらいのぬるめの湯船に浸かり心身をリラックスさせる。
 - ・寝る前は明かりを暗めに調節し自律神経のバランスを整える。
 - ・暖かい汁物や体を温める食材を摂取する。
 - ・疲労回復効果のあるビタミンB1を摂取する。
- まだまだ暑い日が続きます。暑さ対策も大切ですが、冷え対策もしっかりして夏バテ予防に努めてください。

わたぬきクリニック院長 綿貫篤志



今年、御船謡に新乗りさんが誕生しました。

大嶋隆太 さん(30才)



隆太さんの住居は平安古ですが、実家は浜崎新町にあります。新乗りとなって、父親の直隆さん(大一商店)と同時に乗船になりました。八月三日の巡行では、父親の心配をよそに「ワクワクする」と猛暑の中、堂々と謡いあげていました。



浜崎盆踊り大会

浜崎盆踊り、今年も無事に開催することができました。今年で3回目。

年々、来てくださる方が増えて、お子さんからじいじ、ばあまで、そして海外からのお客様も一緒に、たくさんの笑顔が集まる夜になりました。

この盆踊りは、たくさんの「モノ」や「チカラ」を借りて、会場が出来上がっていきます。浜崎でなければ始めることができなかったと思います。

そして今年は、浜崎らしい神輿の掛け声と盆踊りを掛け合わせた、新しい盆踊りまで誕生しました。

みんなが楽しそうに踊っている姿を見られること、それが何より嬉しいです。

今年も一緒にこの時間をつくってくださった皆さま、本当にありがとうございました。

「来年も楽しみにしてるね!」そんな嬉しい言葉もたくさんいただきましたので、また来年、浜崎で踊りましょう。

実行委員チームオドソ 小川優子

浜崎町民大運動会

9月19日(土)午後6時30分より

会場:住吉神社広場

景品をたくさん準備してお待ちしています。 浜崎九友会

◆編集後記◆ 酷暑のなかの住吉まつりが終わり、ひと息ついて盆踊り、運動会、御船倉コンサートと行事が続きます。それぞれ主催団体は違いますが、こんなに動きのある町内は浜崎だけだと思います。

面白そうなイベントを選んで、ぜひ参加してみてください。楽しいですよ。

編集委員 宮田・川久保・岩崎・石村・平野・末益